



# 行動につながる

## 参加体験型学習をともに創る

～ “迷惑” “差別の交差性” “情報リテラシー”  
“貧困の連鎖” を手がかりに～



**2019年3月7日（木）**

**13時半～16時半**

**大阪市立難波市民学習センター**

**第2研修室**（地図等は裏面）

**定員 25人**

**参加・資料代 2,160円（税込み）**

プログラム提案者

**大谷真砂子**さん（じんけん楽習塾）

**柴原浩嗣**さん（（一財）大阪府人権協会）

**武田緑**さん（Demo 主宰）

**松波めぐみ**さん（大阪市立大学他講師）

**森実**さん（大阪教育大学）

大阪府人権協会では現在、

差別や人権侵害に「気づくアンテナ」を豊かにし、「尊重や受容」「構造」について学び、「行動」につながる参加体験型のプログラム開発を進めています。

このプログラム開発に向けた研究会を行い、人権に取り組む皆さまと共に考えていく機会を持つことで、少しでも差別や人権侵害をなくしていく輪を拡げたいと思っています。たくさんのご参加をお待ちしています。

### ■内容■

1. 新しい人権学習のプログラム紹介～プログラムの概要をみなさんにご紹介します。

キーワード①「迷惑」、②「差別の交差性」、③情報リテラシー、④貧困の連鎖（プログラムの説明は裏面参照）

2. 行動につながる参加体験型学習を共に考える

プログラム紹介を受け、みなさんとプログラム提供者とで人権学習のプログラムを考えていきます。

①「迷惑」

「迷惑」は人権について考える大切な切り口になります。

“地域に住む外国人のゴミ出し”“おしゃべりする子どもで授業が進まず”“被差別部落の人と結婚したのできょうだいや親戚が差別を受けるかも”等、様々な事例を「迷惑」をキーワードに考えます。

②「差別の交差性」

障害とLGBT、被差別部落とLGBT、外国籍と被差別部落など、マイノリティ性が交差する問題から、差別の共通性や違いについて考えます。

③「情報リテラシー」

ネット上に流される住所など、被差別部落に関する情報を晒<sup>さらす</sup>す行為、ヘイト、誹<sup>ひぼう</sup>謗中傷など様々な差別や人権侵害にどう抗していくのかを考えます。

④「貧困の連鎖」

差別と貧困の負の連鎖を、被差別のマイノリティ性と社会構造や貧困の仕組み、アファーマティブアクションといった取組を含め、貧困に関して考えます。

■主催、申込・問合せ先 一般財団法人大阪府人権協会

〒552-0001 大阪市港区波除 4-1-37 HRC ビル 8 階 URL <http://www.jinken-osaka.jp/>

TEL : 06-6581-8613 FAX : 06-6581-8614 E-mail [info@jinken-osaka.jp](mailto:info@jinken-osaka.jp)

\*E-Mail でお申込の場合、下記内容を記載の上、件名に「参加型研究会」と明記ください。



会場地図

■住所

大阪市浪速区湊町1丁目4番1号 OCAT ビル 4 階

■交通

【Osakametro】御堂筋線・四つ橋線・千日前線「なんば」駅下車

【JR】「JR 難波」駅上

【私鉄】近鉄・阪神「大阪難波」駅、南海「難波」駅

【市バス】「JR 難波駅前」下車

F A X 06-6581-8614

“参加型” 研究会 (2019.3.7)

参加申込書

■お名前（ふりがな）		■ご所属	
■ご連絡先 * E-Mail あるいは FAX を基本に「受講確認通知」をお送りします。			
E-Mail		@	
電話)		F A X)	
住所 〒			
■受講動機や、この研究会で深めたいと思う内容をお書きください。			
■その他（受講にあたっての要望など）			